
公園と昔

阿山利泰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

公園と昔

【Zマーク】

N7272A

【作者名】

阿山利泰

【あらすじ】

公園での話。これ以上語るのは無粋だね。 続きではないですが、公園の月と公園の鏡とも関係があります。

(前書き)

短編はどこから読んでも面白いがモットーだつたんですが、今回ばかりは前の作品を読んでもらえると嬉しいのですが…もしそければ先に公園の月と公園の鏡を読んでください。

私は結婚していた。

それは彼の無くしたものの代替物だつたかもしれない。

指輪も貰つたし、愛されてもいた。

しかし私を愛した人はもういない。

ある日の昼下がり、公園の大きな木下で少年と少女がいた。私はお気に入りの階段の上でその光景を見下ろしていた、少女は手にピンクの手鏡を持ち、少年は器用に花の茎を折り曲げ小さな円状に組み上げていく、指輪のようだ。

その指輪を少女に手渡す、少女は受け取り指にはめて笑う。屈託の無い笑顔、本当にうれしいのだろう。

私も指輪を貰つた事がある。

それは…私がまだここに来る前の話だ。
一人の男に愛されていた。

その男は最愛の人を亡くして寂しかつたのだろう、
そんな時に私は出会つた。

最初の印象はタバコ臭かつた事だ。
服にもタバコのニオイが付いていた。

吸つていなくても臭いがする。

彼はいつも優しかつたし、楽しかつた。

でも、彼は笑つていたが楽しそうではなかつた。

ある日、彼は私に指輪をくれた、

それは彼が愛した人に送った物だった。

それを私にくれたのだ、私に。

複雑だった、私は彼のなんだったんだろう?

この胸が張り裂けそうなくらい悩んだ。

貰った指輪はサイズが合つわけも無く、チェーンを付け首から下げる。

そんな私を見て、微笑んでから上を見上げる。

彼は月を見ていた。

最愛の人と月を見るのが好きだった…と、

彼が言つていたのを思い出す。

私も月を見上げる。

彼は何も言わなかつた。

私も何も言わなかつた。

ただ、月を見ていた。

時間がたつのも忘れて。

別れは唐突にやつてくるものだ。

どこからか帰つてくると、唐突に喋りかけてきた。

彼は「どうやら僕は長くないらしい」

その言葉から意味を汲むと死期が近いと言つ事なのだろう。

タバコを吸つている手が震えている。

「僕は病院に入る、君の面倒はもう見て上げられそうにない」

別れの言葉である、私はそれでも近くにいたかった。

しかし、彼は彼がいなくなつた後の事を心配しているのだ。

心配されるほど私は弱くない。

そう長い間ではなかつたが愛してくれた者の最後、見届けたかつたがそれは叶わない事だ。

私は家を出る事を決めた。

最後に私は一言だけ言つた。

「一ヤーツ

つと。

最後に彼はタバコの臭いと思い出だけを残した。
私は首に下げる指輪を置いて家を出た。

気付くと少年と少女はいなくなっていた。
ガラにも無く昔の事を思い出してしまった

私は結婚していた。

それは彼の無くしたものの代替物だったかもしだれない。

指輪も貰つたし、愛されてもいた。

しかし私を愛した人はもういない。

(後書き)

はい

読んでいただきありがとうございました阿山利泰です。

公園シリーズ三作目、色々な伏線を回収し短編なのに続いてしまう
と言う管理人さんに怒られてしまいそうですが、公園シリーズは次
で締めくくりたいと思います。

今後もごひいきにお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7272a/>

公園と昔

2010年10月10日05時15分発行